

子供が輝く東京・応援事業
【成果連動型助成(既存の取組のレベルアップ)】

研修会

2020年11月16日・17日

本研修会の目的

- 子供が輝く東京・応援事業【成果連動型助成（既存の取組のレベルアップ）】への応募を検討している団体の方に、本事業における成果評価について理解を深めていただくこと。
- 特に、成果評価の主要ステップである、「ロジックモデルの作成」及び「成果指標の設定」を実際に体験していただくことで、成果評価の作業のイメージをつかんでいただくこと。

公募スケジュール

- ◆ 本事業は、応募者に対して、コンサルタントによる評価設計の支援機会が2回、以下のタイミングであります。

スケジュール（予定）

令和2年10月29日	公募情報ホームページ掲載
11月2日	応募受付開始
11月16日、17日	研修会
12月3日	応募受付〆切
12月上旬～12月中旬	形式審査・書類審査
12月下旬	総合審査（プレゼンテーションによる審査） 対象者への連絡
令和3年1月中旬～2月下旬	個別相談、総合審査書類の提出
2月下旬	総合審査（プレゼンテーションによる審査）
3月上旬	助成対象事業者決定
3月上旬～	交付申請、交付決定
令和3年4月～	事業実施
令和4年3月末	実績報告、成果評価、助成率の決定

※上記スケジュールは、事業実施期間が1ヶ年度の場合。2ヶ年度の場合の1年目は、実績報告までであり、2年目は交付申請から助成率の決定までとなる。

構成

東京都福祉保健財団より説明		
I	本日の進め方及び成果評価のステップの説明	10分
II	ロジックモデルの作成	70分
	グループワーク	(55分)
	発表	(10分)
	ロジックモデル例のご紹介	(5分)
—休憩—		10分
III	成果指標の設定	40分
	グループワーク	(25分)
	発表	(10分)
	成果指標例のご紹介	(5分)
IV	質疑応答	15分
V	個別相談	35分

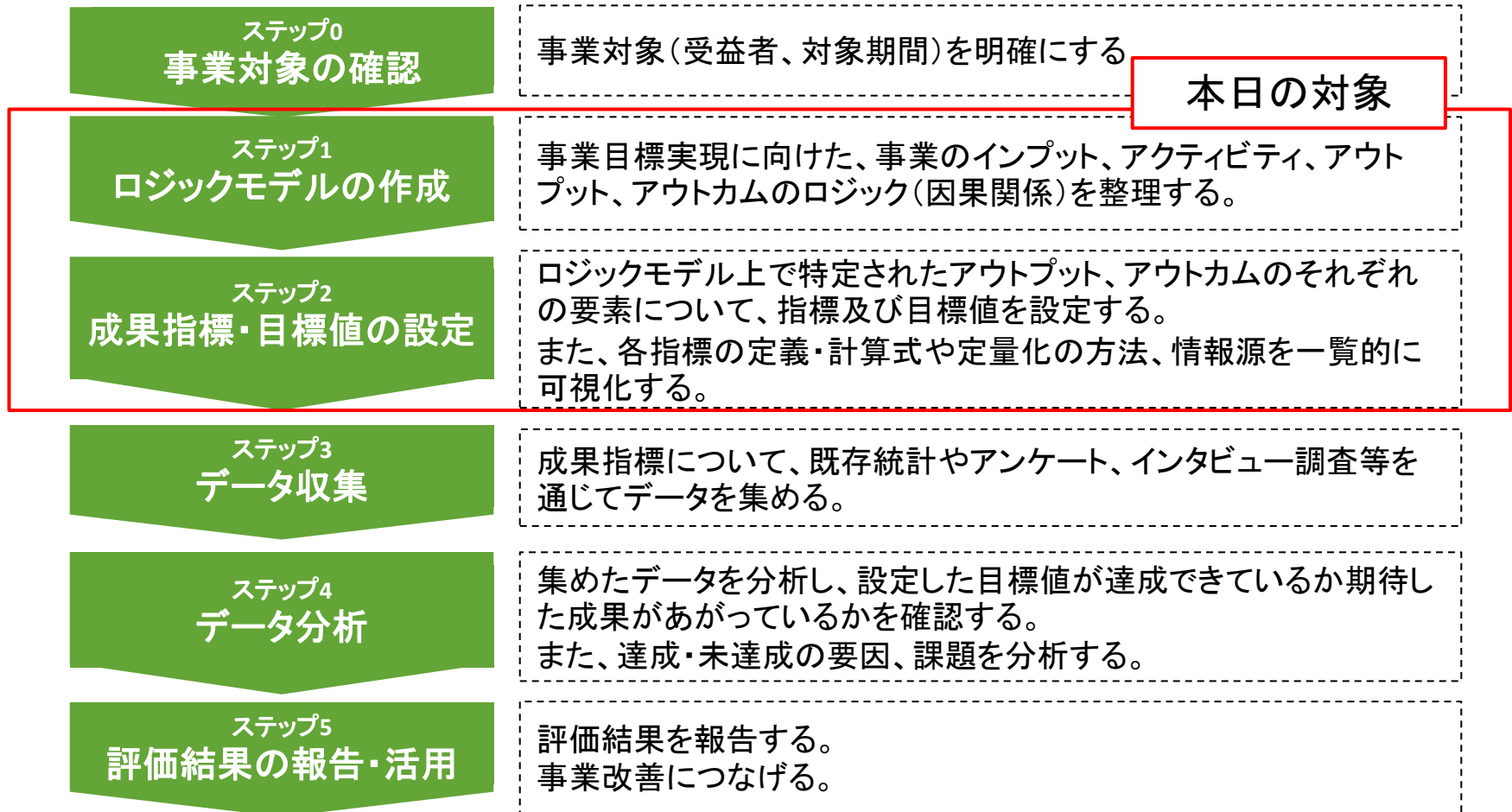
I 本日の進め方及び成果評価のステップ の説明

1. 本日の進め方

- 1テーブルを1グループとし、グループごとに話し合いながら①ロジックモデルの作成、②成果指標の設定の作業をしていただきます。
- コンサルタントが、テーブルを回りながら作業を確認いたします。グループワークの途中でご質問があれば挙手でお知らせください。
- ①ロジックモデルの作成、②成果指標の設定ごとに、いくつかのグループにグループワークの結果を発表していただきます。

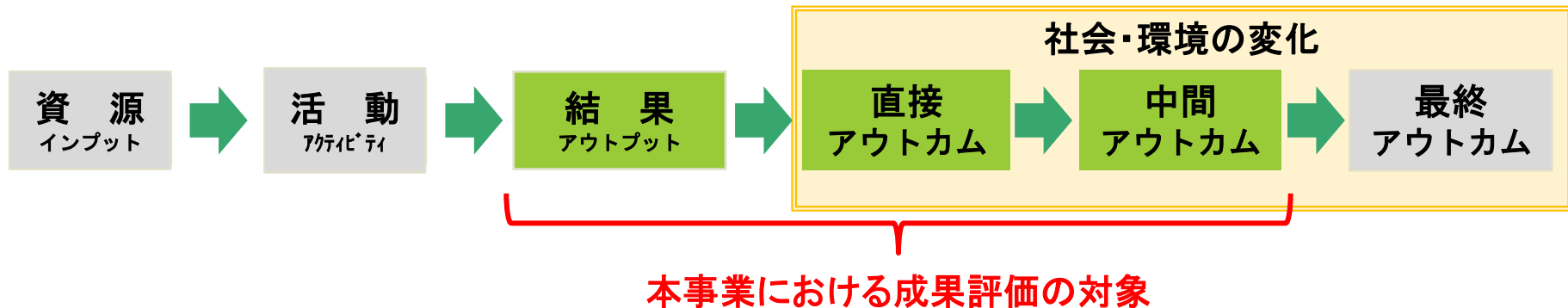
2. 成果評価のステップ(全体像)

◆ 成果評価は次のようなステップで実施します。



3. 基本的な用語

- ◆ 本事業では、事業によりもたらされる成果に着目します。
- ◆ 助成率決定の判断基準になるのは「アウトプット」と「直接アウトカム」、「中間アウトカム」です。



『資源(インプット)』『活動(アクティビティ)』『結果(アウトプット)』『成果(アウトカム)』の関係は、上図のように一連の流れ図のような関係にあります。

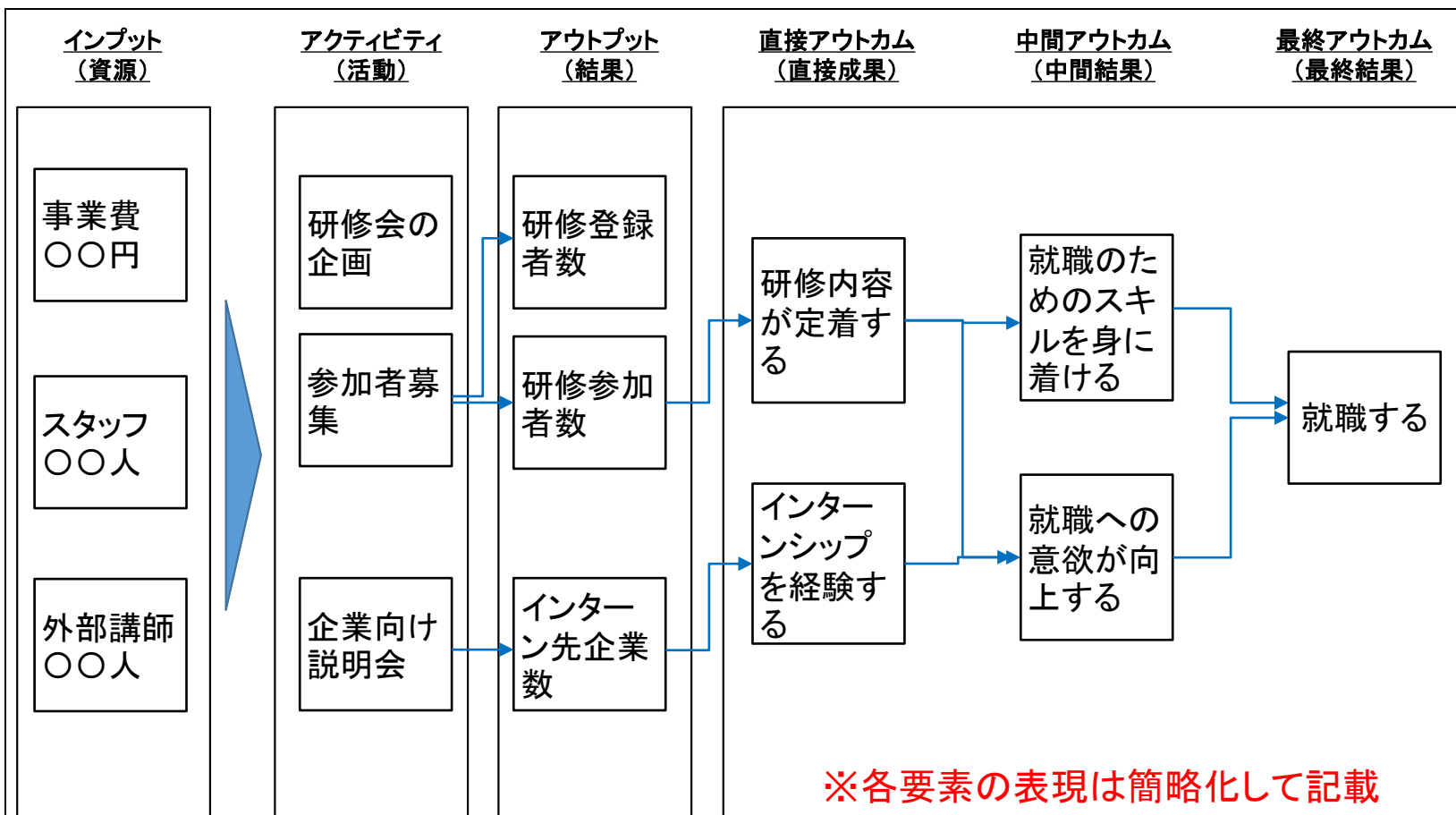
- ー資源(インプット) : 資金、人員、場所・施設等、事業の実施に必要な投入物
- ー活動(アクティビティ) : 事業者が実際に従事する具体的業務
- ー**結果(アウトプット)** : 事業者の活動により産み出されるサービス等の結果
- ー**成果(アウトカム)** : アウトプットにより生まれる社会的・環境的な価値

4. 成果評価のステップ

【ステップ1】ロジックモデルの作成

◆ ロジックモデルの様式に事業の活動、結果、及び、成果を示します。

ロジックモデルイメージ(生きづらさを抱えた若者への就職支援事業)



4. 成果評価のステップ

【ステップ1】ロジックモデルの作成

◆ ロジックモデルの様式に事業の活動、結果、及び、成果を示します。

(応募様式)事業実施計画 ④ロジックモデル

Ⅲ ロジックモデルの作成

1. グループワーク: 自己紹介

◆ グループごとに簡単な自己紹介をしてください。

- お名前
- ご所属
- 最近最も気になったニュース

2. 評価対象事業(1/3)

- 皆様は『NPO法人子供の輝き協会』（以下、「協会」といいます。）のスタッフという設定です。
- 協会は、次のようなミッションを掲げて活動しています。

全ての子供が輝く社会を作る

- ・ 子供の心と体の健康を維持・増進する
- ・ 子供の想像力・創造力を育む
- ・ 子供が社会の中で他者との関係を築きながら生き抜く力を育む

2. 評価対象事業(2/3)

- 協会では、近隣の小学生のために様々な放課後教室を開催しています。
- 協会では、これまでに室内での学習や文化プログラムに注力をしてきており、ボールや遊具を使ったスポーツについては、専任の指導員は配置せず、室内の多目的室で子どもが自由に行うようにしてきました。しかし、近年、子供数の増加に伴い、多目的室が手狭になり、子供が十分にスポーツを楽しむ環境を提供することができなくなっていました。
- この地域の小学校では、近年、子供の体力づくりに力を入れており、地域のスポーツイベントに積極的に協力して参加者を増加させるなど、学校全体でのスポーツへの取り組みを積極化させ、スポーツに参加する機会を増やしてきました。その結果、子供たちに体力面での効果だけではなく、勉強にも積極的に取り組む傾向が見られるようになりました。

2. 評価対象事業(3/3)

- 協会では、以上のような状況とこれまでに保護者から寄せられた意見をもとに、子供の体力づくりに力を入れることにし、放課後教室の中に運動遊びを取り入れることにしました。
- 運動遊び教室では、専任のスタッフを配置して、学校の校庭や近隣の公園を使い、子供たちが遊びの要素を取り入れながら創意工夫をして、体を思いきり動かせるような運動遊びプログラムを開発し、実施します。参加は登録制で、週に2回開催します。
- 協会では、説明会の実施や参加者の募集からプログラムの開発・運営に至るまで、独自に事業を実施しています。
- 運動遊び教室は登録制で、声掛け対象は近隣の小学校に通学する児童約1,200名です。
- 本事にかかる経費は1年間で1,000万円です。
- スタッフは5名で、運動遊び教室の開催にあたっては他に専門指導員を配置します。

【ステップ0】事業対象の確認

- ◆ 事業対象となる、受益者や事業対象期間を確認します。これらが、成果評価を実施する際の対象になります。
- ◆ 本研修では、以下のような仮定を置きます。

受益者	近隣の小学校区の児童約1,200名より、登録制で募集 (登録には保護者の許可が必要)
事業実施期間	1年間

1. グループワーク: ロジックモデルの作成

◆ グループごとに次の手順でロジックモデルを作成してください。

1. 協会の事業が目指す「最終アウトカム」の設定
 - グループでの議論により最終アウトカムを設定してください。
 - 最終アウトカムは1つに絞る必要はありません。
2. 「中間アウトカム」、「直接アウトカム」の設定
 - 最終アウトカムを実現するために、その手前で何が必要か(どのような変化をもたらす必要があるか)を各自でポストイットに記入してください。
 - それぞれが書いたポストイットを模造紙に貼りながら、最終アウトカムに至るまでの段階や因果関係を考慮しながら整理してください。
3. 事業の「インプット」、「アクティビティ」、「アウトプット」の整理
 - インプット、アクティビティは事業内容から想定してください。
 - アウトプットは、アクティビティの直接的な結果としてもたらされるものを議論しながらポストイットに書いてください。
4. インプットから最終アウトカムまでの関係性の確認

※アウトカムは「誰が」「どうなる」を具体的に書いてください。

2. 発表

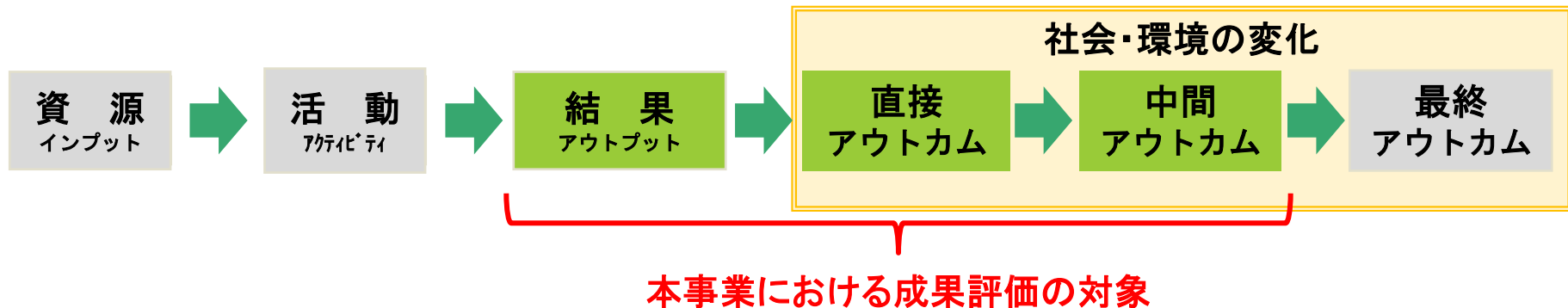
◆ 2～3程度のグループに発表していただきます。

3. ロジックモデル例のご紹介

Ⅲ 成果指標の設定

【ステップ2】成果指標・目標値の設定

- ◆ 成果指標はロジックモデル上の各要素に設定することができます。
- ◆ 助成率決定にあたっての評価対象となるのはアウトプット、直接アウトカム及び中間アウトカムです。



【ステップ2】成果指標・目標値の設定

- ◆ 成果指標は、ロジックモデルに示したアウトプット及びアウトカムの達成状況を定量的に測るために設定するものです。
- ◆ 成果指標の目標値は、過去の事業実績に照らすなどして設定してください。

(応募様式) 事業実施計画 ⑤成果指標

⑤ 成果指標・目標値

※ロジックモデルで設定した成果指標のうち、評価対象とする指標(アウトプット指標・直接アウトカム指標・中間アウトカム指標で各区分最大2つまで設定可能)について、設定した指標・目標値(事業実施期間終了時の達成目標値)の妥当性も含めて記載すること。

a アウトプット指標

- **研修会参加者数 ●●人**
(指標の定義) 研修会に参加した実人数。
(目標値設定の根拠) 事業拡大により昨年度の参加者数から〇〇人の追加を図る。
- **インターン先登録企業数 ●●社**
(指標の定義) インターンシップ受入れの協定書を締結した企業数。
(目標値設定の根拠) 昨年度からの継続企業△△社に〇〇社の追加を図る。

【ステップ^o2】成果指標・目標値の設定(続き)

⑤ 成果指標・目標値

b 直接アウトカム指標

- 研修修了者数 ●●人

(指標の定義) 研修会の修了テストに合格した人の数。

(目標値設定の根拠) 昨年度までの事業により、研修会終了後に実施するテストに合格するのは7割程度であった。今回は、研修参加者のフォローを行い、修了テスト合格率を8割程度に高める。

- インターンシップ登録者数 ●●人

(指標の定義) 研修修了者のうち、インターンシップに登録した人の数。

(目標値設定の根拠) 昨年実績では研修修了者のうち4割がインターンに登録した。今年度は、インターンへの関心をより喚起する内容を研修に入れることにより、5割の登録を目指す。これにより、インターン登録者数の目標は●●人となる。

c 中間アウトカム指標

- インターンシップ修了者数 ●●人

(指標の定義) インターンシップ登録者のうちインターン全日程を修了した人の数。

(目標値設定の根拠) 昨年度は、研修を修了してインターンシップに登録した人のうち、実際に全日程を修了した人は4割程度いた。今年度は、インターン期間中のフォローを入れることによりこの割合を5割に高めるため、●●人と設定する。

- 就職意欲向上率 ●●%

(指標の定義) インターンシップ修了者に対してアンケートを実施し、「インターンを通じて就職に対する意欲が高まった」と回答する人の割合。

(目標値設定の根拠) インターン実施中のフォローによりこの割合を昨年度水準(6割)より高い7割まで高める。

【ステップ3】データ収集／【ステップ4】データ分析

◆ 成果指標を設定する際に、データ収集の方法も併せて検討します。

(応募様式)事業実施計画 ⑥測定方法【記載例】

⑥測定方法

※評価対象とする指標のデータ測定方法や、測定のタイミングについて記載すること。

a アウトプット指標

- ・ 研修会参加者数 ●●人
団体内部の研修会参加者リストにより、R〇年〇月〇日までに集計
- ・ インターン先登録企業数 ●●社
団体内部のインターンシップ受入れの協定書締結リストにより、R〇年〇月〇日までに集計

b 直接アウトカム指標

- ・ 研修修了者数 ●●人
団体内部の研修修了者(修了テスト合格者)リストにより、R〇年〇月〇日までに集計
- ・ インターンシップ登録者数 ●●人
団体内部のインターンシップ登録者リストにより、R〇年〇月〇日までに集計

c 中間アウトカム指標

- ・ インターンシップ修了者数 ●●人
インターンシップ先企業に聞きとり調査を実施し、インターンシップ修了者数を聴取して集計
- ・ 就職意欲向上率 ●●%
インターンシップの修了後に、参加者アンケートを実施し、就職意識が向上した人の割合を集計

1. グループワーク: 成果指標の設定

◆ 次の手順に従い、配布した様式(成果指標一覧)に記入してください。

1. 作成したロジックモデルの「中間アウトカム」、「直接アウトカム」、「アウトプット」のそれぞれから2つずつ、指標を設定する対象を選んで表に記載してください。
2. 選んだ中間アウトカム、直接アウトカム、アウトプットそれぞれに対し、どのような指標を設定するか検討してください。

2. 発表

◆ 2～3程度のグループに発表していただきます。

3. 成果指標例のご紹介

IV 質疑応答

V 個別相談
